

図書館だより

NO. 138 2009年 8月号
(2009年8月1日発行)

はつかいち市民図書館
電話(0829)20-0333
廿日市市下平良 1-11-1

ホームページ <http://www.hiroshima-hatsukaichi-lib.jp>

～中央展示～ 「平和がいいに決まってる」

～戦争・平和の絵本を特集しています～

原爆が、人類史上初めて広島に投下されて、64年が過ぎようとしています。その悲惨な出来事を忘れないために、はつかいち市民図書館では、原爆コーナーを設けています。

今回の中央展示では、戦争・平和の絵本を特集します。この展示を通して、「平和の大切さ」を考える機会になることを祈っています。その一部を紹介します。

『バスラの図書館員～イラクで本当にあった話～』『平和の種をまく～ボスニアの少女エミナ～』『まちゃんと』『絵本 おこりじぞう』『ピカドン』この他にもたくさん展示しています。

はつかいち美術ギャラリーでは第13回平和美術展「生命を凝視めて/入野忠芳・田谷行平」を開催しています。被爆体験を持つ二人の画家の作品の代表から近作まで約40点を、一堂に展示しています。

ひろしま子どもの読書活動団体等ネットワーク協議会 研修会開催のお知らせ

第1回 8月31日(月) 13:30～15:00 あいプラザ3階講座室

講演会 「子どもと読書」

講師：山元隆春 広島大学大学院教育学研究科教授

子どもと本に興味のある方など、どなたでもご参加いただけます。(参加申し込み不要)

<今月の展示>

<さくらぴあ展示> 『合唱』

8月9・10日(日・月)に、「第76回NHK全国学校音楽コンクール広島県コンクール」がさくらぴあで開催されます。小学校・中学校・高等学校の児童・生徒を対象にした合唱コンクールにちなんで、合唱に関係した本を展示します。

<中央展示> 『このほんおもしろいよ』

7月に引き続き、小学生・中学生向けに、夏休みにおすすめの本を展示しています。小学校低学年・中学年・高学年・中学生に分けて「おすすめの本のリスト」も用意しています。

<児童展示> 『虫、大好きだよ』

カブトムシ、バッタ、てんとう虫、はたまた蚊やゴキブリまで……。絵本の中にも色々な虫が登場します。お気に入りの1匹きを見つけてみましょう。

<テーマ展示> 『真夏に読みたいミステリー』

思わず寒気がおそってくるような「ミステリー」を集めて展示します。

7月の読書会で読んだ本

一般書

『流星の絆』

東野圭吾／著 F／ヒ 講談社 2008年

幼い頃、兄弟三人(功一・泰輔・静奈)で、ペルセウス星群を見に行っている間に、洋食店を営む両親が何者かに惨殺された。

泰輔は犯人らしき男を目撃するが捜査は難航し14年の歳月が流れていく。大人になった三兄弟は自らも詐欺にあったことから詐欺師として生計をたてるようになる。“最後の仕事”のターゲットとして選んだレストランの御曹司の父親は、あの夜、泰輔が目撃した男に酷似しているという疑惑を抱き、ここから三人の復讐計画が繰り広げられていくのであるが……。

過酷な幼少期を過ごした故に、強い絆で結ばれた三兄弟。これからは、兄弟以外のたくさんの絆を結びながら希望に満ちた未来を歩んでいってほしい、歩んで行ってくれるものと信じている。

読書会会員／中村恭子

～読書会日時～

毎月第3水曜日(10:00～12:00)です。

会費・場所等は、はつかいち市民図書館へお問い合わせください。

<今月の新着(一般書)>

図書館には1カ月に約500冊の新刊が入ります。その一部を紹介します。

- 『かわいい手製本』 水野真帆/著 毎日コミュニケーションズ 022.8/ミ
- 『軽くなる生き方』 松浦弥太郎/著 サンマーク出版 159/マ
- 『エリザベス 華麗なる孤独』 石井美樹子/著 中央公論新社 288.4/イ
- 『エクセルで極める1枚企画書』 竹島慎一郎/著 アスキーメディアワークス 336.5/タ
- 『「ママ」というオシゴト』 菅原ますみ/著 主婦の友社 379.9/ス
- 『夜空からはじまる天文学入門』 渡部潤一/著 化学同人 440/ワ
- 『絵とき「穴あけ加工」基礎のきそ』 海野邦昭/著 日刊工業新聞社 532.2/ウ
- 『強い農業をつくる』 青山浩子/著 日本経済新聞出版社 611.7/フ
- 『ことわざバトル』 安西水丸・和田誠/著 文芸春秋 726.5/フ
- 『谷川浩司の戦いの絶対感覚』 谷川浩司/著 河出書房新社 796/タ
- 『夢は書物にあり』 出久根達郎/著 平凡社 914.6/テ
- 『「アルツハイマー」からおかえりなさい』 荒井和子/著 ポプラ社 916/フ
- 『古井戸の骸骨』 塩見鮮一郎/著 河出書房新社 F/シ
- 『ふちなしのかがみ』 辻村深月/著 角川書店 F/ツ

郷土資料紹介

『三世代がいま語る

わたしの戦争』

新世紀に戦争を語り継ぐ会／編
H210.7/サ 汐文社 2009年

31人の戦争・原爆体験者の手記が集められた「三世代が語るわたしの戦争」には戦後64年経った今でも心や体に深い傷をおった人々の肉声がおさめられている。

あとがきに、「明治、大正、昭和の三世代が、語ることは容易なことではなかった。辛いことであった。」と結ばれている。その辛さが文字となって後世へ、「命のメッセージ」として残ることは決して簡単にはできないことではない。

本一冊の重みをあらためて知ることができる本書は、廿日市市にゆかりのある人たちの力でできあがった本である。

「戦争」が残したもの、「平和」の意味をすることができるこの本を、戦争を知らない若い世代に是非読んでもらいたい。

廿日市市に関する資料は、一番奥の「N」の棚にあります。ラベルに「H」という記号がついています。

新刊

こどものほん

『おいで、フクマル』

くどうなおこ さく ほてはまたかし え 小峰書店 E/林
ぼくを抱いてうちに連れてきたのはおとうさんで、
ぼくをしっかりと抱いてくれたのはおかあさん。ちよ
うちょやありんこはぼくと遊びたがっている…。フ
クマルは尋ねます。「ぼくをこのせかいによんでくれ
たのはだれ？」喜びあふれるフクマルの顔が印象的。

『マンガで学ぶナチスの時代 1—ある 家族の秘密—』

絵/エリック・ヒューフェル 文/リュート・ファン・デア・ロール
メンノ・メッツェラー 監訳/早川敦子 汐文社 235/0

オランダを舞台にナチスが台頭している時代を生
きたふたりの少女の物語。第二次世界大戦下でユダ
ヤ人が受けた迫害の歴史が描かれています。

「負の遺産」を現代っ子にも理解しやすいように、
漫画で著しました。『真実をさがして』は続編。

『あるくのがきれいな王さまのはなし』

松野正子作 岡田淳絵 PHP研究所 913/7

王さまが歩くのは、お風呂とトイレに行くときだ
け。歩くのがきれいなのです。ある日、隣の国のお
ひめさまに会うことになりました。ところが、この
おひめさま歩くのが大好きなのです。さてさて…。
1978年出版の新装改訂版です。

『いそっぷのおはなし』

降矢なな 絵 木坂涼 再話 グランママ社 E/7

足の速いうさぎがかけっこでかめに負けるお話
「うさぎとかめ」や、働き者のありと怠け者のきり
ぎりすの話「ありときりぎりす」など9話収録。お
なじみのイソップの話が、大胆な構図と鮮やかな色
彩の絵で楽しい絵本になりました。

『うみのダンゴムシ・やまのダンゴム シ』

皆越ようせい 写真・文 岩崎書店 485/ミ

みんながよく知っているダンゴムシに仲間がいま
した。日本各地の海岸の砂浜にいるのは海のダンゴ
ムシで、山にも別の種類があります。住んでいる場所
は違っても「そうじ屋さん」なのは変わりません。
種類も色もいろいろ、ダンゴムシ大集合の本です。

『水深五尋』

ロバート・ウェストール 作 金原瑞人・野沢佳織 訳
宮崎駿 画 岩波書店 933/7

第二次世界大戦下の英国の小さな港町。貨物船が
撃沈されるのを目撃したチャスは、翌朝発信器らし
きものを発見する。ドイツ軍のスパイがいるのでは
と、幼なじみたちとスパイ捜しを始めるが…。階級
社会への批判、親との葛藤や恋愛、十代の若者の心
の揺れが見事に描かれた自伝的要素の強い作品。

ミニブックトーク

旅に出てみたけれど…。

ながーい夏休み！やっぱりどこかへでかけたいですね。そこで今月は旅をテーマに本を紹介しましょう。
でも、どの本の旅も、道中たいへんなことが起こってしまう旅になりました。

ぬいぐるみのこんは、あきを連れて汽車に乗り、さきゅう町のおばあちゃんの所へ向かいました。しっぽ
をドアにはさまれながらも、気丈にあきの面倒をみるこん。やっとたどり着いたあきは、おばあちゃんの温
かさにも包まれます。柔らかな絵で描かれた『こんとあき』は、読み手も幸せな気持ちになる絵本です。

帽子売りのおじさんは、町から町へと頭にのせた帽子を売り歩きます。ところが、昼寝をしている間に…。
おじさんとさるのやりとりがユーモラスな物語は、『おさとぼうしうり』です。

クリスマスに大活躍のサンタさんの夏休みは、やっぱりキャンプに決まり。ソリを改造したキャンピング
カーに乗り寒い家を出発して、いざフランスへ。最初は快適だったのですが…。次から次へと場所をかえ、
世界中を飛び回るサンタの物語『サンタのなつやすみ』はコマ割り絵本です。

最後は『ニルスのふしぎな旅』。ガチョウとがんの群れと空の旅をするニルスの冒険物語は、子どもたち
がスウェーデンの地理を学びながら楽しめる本として1906年に出版された長編ファンタジーです。

『こんとあき』 林明子さく 福音館書店 E/ハ

『おさとぼうしうり』 エスフィール・スロボドキーナさく・え まつおかきょうこやく 福音館書店 E/ス

『サンタのなつやすみ』 レイモンド・ブリッグズさく さくまゆみこやく あすなろ書房 E/7

『ニルスのふしぎな旅上・下』 セルマ・ラーゲルレーヴ作 菱木晃子訳 ベッティール・リーベック画 福音館書店 949/ウ

～子どもと本の講座～

もっと身近にブックトーク!

子どもたちに本を手渡していきたいという願いから、はつかいち市民図書館では毎年“子どもと本の講座”を実施しています。今年のテーマはブックトークです。実践では、受講者を対象に各自テーマを決めてブックトークを実演してもらいます。(時間により、実演をする人数を限らせていただきます。)

ブックトークの魅力や楽しさを知って、子どもたちに読書の楽しさを広める活動をしてみませんか?

場 所 あいプラザ 3階 講座室
対 象 学校や市民センター、図書館などで子どもに本をすすめる立場の方
子どもの読書に興味のある方 など



回	とき	内 容	講 師
第1回	8/20 (木) 10:00~12:00	ブックトークに親しもう -ブックトークの設計図づくり-	講 師/吉川 五百枝 ひろしま子どもの読書活動団体等 ネットワーク協議会代表幹事 アシスタント/田中 いづみ 府中市学校司書 ボランティアネットワーク 虹のポケット代表
第2回	9/3 (木) 10:00~12:00	ブックトークの実践1	
第3回	9/9 (水) 13:30~15:30	ブックトークの実践2	

※1回だけの受講も可能ですが、できるだけ連続しての参加をお願いします。
参加申込は、はつかいち市民図書館まで。



8月の図書館カレンダー

3・10・17・24・31 休館

◎ちいさいこのためのおはなし会

【対象】乳幼児
【時間】1回目 11時～
2回目 11時30分～
※整理券を相談窓口で配布します

☆おはなし会

【対象】幼児～小学校低学年
【時間】11時～

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7 ◎	8 ☆
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21 ◎	22 ☆
23 30	24 31	25	26	27	28	29

場所はいずれも**図書館会議室**です